

2020年6月19日(木) 日刊工業新聞掲載

大を受けてさまざまなことを考えました。子どもたちを思うと、いても立ってもいられません。動画投稿サイト「ユーチューブ」上で、楽しみながら手を洗うための動画を公開しました。また、地域を巻き込んだ炊き出しを行ったのですが、これは「やれることをやろう」と発信する意図もありました。

私は当社に関する指揮命令系統として、トップダウンでもなく、ボトムアップでもない、現場が自発的に動く仕組みを作りたいと考えています。

「埼玉から世界へ」と情報やノウハウを発信することが夢です。新型コロナウイルスの影響が落ち着いたら日本式の保育を持って、海外に進出したいと考えております。

企業データ

①1995年②1300万円③548人④保育・子育て支援事業⑤川口市

《企業データ》

- ①創業・創立年
- ②資本金
- ③社員数
- ④業種・事業内容
- ⑤所在地

ケットに必要とされ、現地の企業として存続することを願っています。

日本を合わせた全業種の事業環境に劇的な変化が起り、中小企業の厳しさは増すばかりです。新型コロナウイルス感染症の影響はリーマン・ショックをはるかに超えると言われていますが、今後予想される厳しい環境下において「どうして生き残る」というのはありません。

社員の力を結集するための経営理念や国内マーケットの選定、中核技術の開発、人材の育成などを常に意識し、できることを実行していきます。客先に必要な存在とされて次の受注を頂戴し、家業を存続するのみです。あとは「なるようになる」ですね。

企業データ

①1934年②1億円③160人④プラスチック成形用金型、同部品、付属品の設計・製造⑤久喜市

第39回 西海記念賞

埼玉産業人クラブ（増田文治会長）マスク社長は、研究開発や創意工夫などで優れた成果を出した全員企業の技術者をたたえる「第39回西海記念賞」を表彰した。「摩耗部品」の交換を可能にした粉砕機」を賞した。本シーム（川口市）の中谷健太郎さん、土井眞さん、「コンプレッサー」の製造に不可欠なヘーン溝加工用プロ「チ」を開発した日東精密工業（寄居町）の富丘亮晴さん、鶴賀剛さんが輝いた。同賞は埼玉産業人クラブ第2代会長を務めた三輪精機の西海敏夫氏による寄付金で創設。今回は2019年に掲載された日刊工業新聞の記事から候補を選び、技術士ら専門家に協力を頂いた。

日本シーム(川口市)

— 摩耗部品ごとの交換を可能にした粉砕機 —
— 水流を用いた高精度の選別機 —

設計技術部 中谷 健太郎さん

土井 眞さん

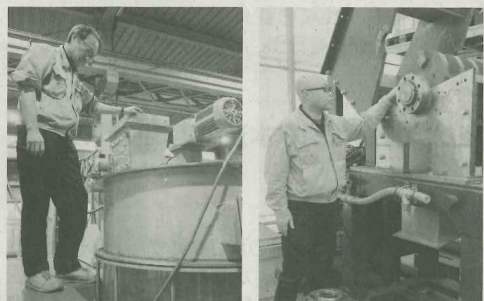
「機械の力でプラスチックの再生力を高める」。日本シームの木口達也社長はこう強調する。廃プラスチックのマテリアルサイクル（再生利用）率は2割程度で、残りは埋め立てや焼却に回されている。これを粉砕、選別など各工程の機械を極めることで、マテリアルサイクル材料の品質を高め用途を拡大し、社会の課題解決に貢献する。

粉砕機「メガホエール」は、金属付き廃プラを投入できるのが特徴だ。金属を手で除去しようとする、かなり時間がかかる。同製品は6ミリのビスなら問題なく粉砕できるため、人手作業を大幅に削減できる。

金属を粉砕すると部品が摩耗しやすい。従来はケーシングやローター全体を交換するため、コストがかかっていた。

水流を均一にしたまま、いかに廃プラの粉砕片に均一に力を加えるかがポイントで「水流を乱さず廃プラを供給するなど工夫を凝らした」（土井さん）という。同装置の導入により、少しでもマテリアル材料として再利用し、廃プラの歩留まり向上に役立てようとしている。

粉砕機を前に説明する中谷さん



「製品単体のみならず、ラインで一括提案できるのが強み」と木口社長はいう。そのための製品テスト環境も開設した。各工程の製品力を強化し、顧客の課題解決に向けた最適提案で循環型経済を推し進めていく考えだ。

選別機を開発した土井さん

こころま〜るくめすぶコマーシは「子育てにしまわせた社会」を創造します

保育・子育て支援サービス

株式会社 コマーシ

ヤシマが灯す、今までもこれからも。地元に愛されて創業74年

株式会社 八洲電業社



想いをつなぐ、未来を形に。Next Action RESONA GROUP

THE HUB for BUSINESS GROWTH

ビジネス成長拠点
Business Plaza
RESONA ビジネスプラザさいたま



「金融仲介」から「情報仲介」へ

「お客様の“さまざまな”解決に向けてサポートいたします」